

第3回岡崎市特別職報酬等審議会会議録

- 1 日 時 令和5年12月11日（月）午後2時00分～午後3時00分
- 2 場 所 岡崎市役所西庁舎7階 702会議室
- 3 出席者 大林市郎委員、長坂秀志委員、新井勇治委員、川上将史委員、
菊地桂佑委員、黒野晃司委員、丹羽美穂子委員、原田章代委員、
平野敏雄委員、藤田真須美委員
- 4 欠席者 なし
- 5 事務局 戸谷総務部長、岩瀬人事課長、深谷人事課主任主査、
春日井人事課主事
- 6 議 題
 - (1) 資料説明並びに審議
 - (2) 答申の日程及び方法について

(1) 資料説明並びに質疑応答

発言者	議 事 録
会長	前回の審議会では、市長及び副市長は据置き、議長、副議長及び議員は令和3年度に当審議会が答申した減額分を引上げという結論を出した。
事務局	答申書の案について事務局から説明をお願いしたい。
委員	（答申書案について説明）
委員	2頁の審議経過について、改行をせずに一段落にまとめるのがよいと考える。
委員	市長及び副市長を据置きとした理由について、一般論だけでは説明が足りないと思う。予算が厳しいという話もあるので、そういった側面も含めて書くべきだと思う。
委員	議長、副議長及び議員の報酬について、「物価高騰の影響を大きく受けているため」とあるが、3,000円、4,000円という引上げ額は、物価高騰に対応する額として十分でないと思う。前回の報酬に戻すという表現の方が適切と考える。
委員	市長、副市長の給料について、「引上げについての意見が出された。その一方で～据置きは実質引下げに当たるという見解もあった。」という文脈は適切ではない。「その一方で」を削るのがよいと考える。

委員	生活給という側面はあるが 3,000 円、4,000 円では、中小零細企業も 3,000 円、4,000 円を上げれば生活ができるという印象を与えかねないので表現には配慮が必要だと思う。 (修正後の答申案を配布)
会長	この内容で答申を行うということでよろしいか。 (全員賛成)

(2) 答申の日程及び方法について

発言者	議 事 録
会長	(会長と職務代理の二人で市長に答申することを決定した。) 第 3 回審議会の閉会を宣言